

進化を続ける先進の予防安全パッケージ。

# Toyota Safety Sense

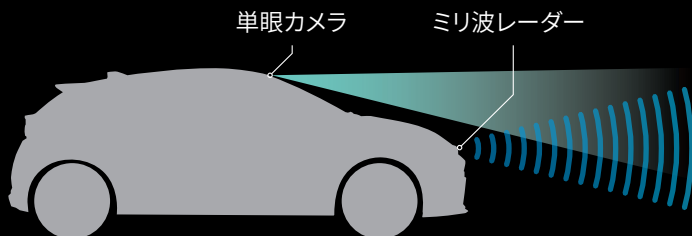


[RZ “High performance”、RZ に標準装備。RC にメーカーパッケージオプション]

**POINT 1** 先進機能が、多くの状況でドライバーをサポート。

- プリクラッシュセーフティ……ぶつからないをサポート
- レーントレーシングアシスト……高速道路のクルージングをサポート
- レーンディパーチャーアラート……はみ出さないをサポート
- レーダークルーズコントロール……ついていくをサポート
- オートマチックハイビーム……夜間の見やすさをサポート
- ロードサインアシスト……標識の見逃し防止をサポート
- 発進遅れ告知機能……先行車・信号出遅れをサポート

**POINT 2** 2種類のセンサーで高い認識性能と信頼性を両立。



## ⚠ Toyota Safety Senseを安全にお使いいただく上での注意事項説明

Toyota Safety Senseは予防安全パッケージです。ご契約に際し、Toyota Safety Senseおよびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。(ご使用になる際のお客様へのお願い) ■運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。■各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすることと思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。■ご使用前には、あらかじめ取扱書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。■お客様ご自身でプリクラッシュセーフティの作動テストを行わないでください。対象や状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ■ソフトウェアアップデート

Toyota Safety Sense一部のプログラムは、DCMによる無線通信により、販売店に入庫することなく最新のソフトウェアに更新できます。※ソフトウェアの更新がある場合、ディスプレイオーディオに通知画面が表示されます。画面の指示に従ってすみやかに更新してください。※お客様の安全や車両の保安基準に関わる重大なソフトウェア更新が必要になった場合には、お客様の更新の許諾の有無にかかわらず、自動でソフトウェア更新を行うことがあります。また、この場合にお客様が許諾していなかった他の機能も含めて最新バージョンに更新される場合があります。※ソフトウェアを更新すると、各機能の取り扱い方法が変わったり、機能が追加されることがあります。変更・追加された内容は、toyota.jp内の取扱書ページにある最新の取扱説明書で確認することができます。 ※無線通信によるソフトウェアアップデートはT-Connect契約が必要です。

## レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]の留意事項

■レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]は自動で運転する装置でも周囲への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。■故意に車線から逸脱して走行するなど、各システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。■安全性の観点から、ドライバーはステアリングを持续ける必要があります。手を放すと、レーントレーシングアシスト[LTA]が停止します。■例えば次のような条件下では、レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]が正常に作動しないおそれがあります。●車線または走路の認識が困難なシーン(悪天候、逆光、濡れた路面、線がかすれている、急カーブ、急勾配、分合流付近など) ●タイヤに変化がある時(応急用タイヤ、タイヤチェーン装着時など) ■例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]の作動をキャンセルする場合があります。●車線を見失った時 ●ドライバーの追加運転操作を検知した時(ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など) など ■レーンディパーチャーアラート[LDA]は約50km/h以上で作動します。路外の構造物に対しては約35km/h以上で作動します。ただし、レーントレーシングアシスト[LTA]支援中は約50km/h未満でも車線逸脱警報機能が作動します。■作動車速以上で走行しドライバーの目で車線が見える場合でも、山間部や市街地などに見られる次のような状況では、レーンディパーチャーアラート[LDA]が作動しない、または安定して作動しない場合があります。●急カーブや急勾配を走行する時 ●車線幅が狭い、または変化している時 など ■レーントレーシングアシスト[LTA]が先行車に追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。



GRヤリスは「セーフティ・サポートカーS(ワイド)、セーフティ・サポートカー」です。

セーフティ・サポートカーS(ワイド)(サポカーS(ワイド))、セーフティ・サポートカー(サポカー)は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置など安全運転を支援する装置を搭載し、高齢者を含むすべてのドライバーの安全をサポートします。

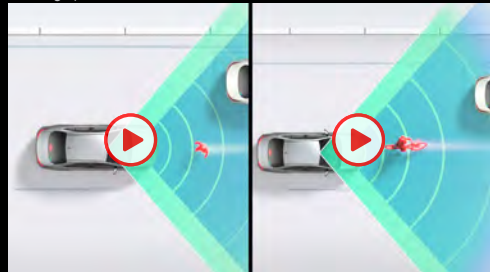
区分	対象機能	対象グレード
セーフティ・サポートカーS(ワイド) (サポカーS(ワイド))	Toyota Safety Sense [レーントレーシングアシスト/プリクラッシュセーフティ/レーダークルーズコントロール/ レーンディパーチャーアラート/オートマチックハイビーム/ロードサインアシスト]かつ、 パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)装着車*	RZ“High performance”、RZ
セーフティ・サポートカー (サポカー)	Toyota Safety Sense [レーントレーシングアシスト/プリクラッシュセーフティ/ レーダークルーズコントロール/レーンディパーチャーアラート/オートマチックハイビーム/ロードサインアシスト]装着車	RC(メーカーパッケージオプションの 予防安全パッケージ装着車)

■安全運転を支援する装置は、あくまで運転を支援する機能です。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。 ※6MTには装備されません。

ぶつからないをサポート。

▶プリクラッシュセーフティ(歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼夜]・自動二輪車[昼]検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー＋単眼カメラ方式)

[RZ“High performance”、RZに標準装備、RCにメーカーパッケージオプション]



■直進時の歩行者・自転車運転者検知機能



■直進時の自動二輪車検知機能

直進時の衝突回避・被害軽減をサポート。

■直進時の車両・歩行者検知機能

前方の車両や歩行者(昼夜)、自転車運転者(昼夜)、自動二輪車(昼)をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報ブザーとマルチインフォメーションディスプレイ表示で衝突の可能性を知らせ、ブレーキを踏めた場合はプリクラッシュブレーキアシスト。ブレーキを踏めなかった場合はプリクラッシュブレーキを作動させ、衝突回避または被害軽減をサポートします。プリクラッシュブレーキは歩行者や自転車運転者に対しては自車が約5~80km/hの速度域で作動し、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、車両や自動二輪車に対しては自車が約5km/h以上で作動し、衝突回避または被害軽減をサポートします。

■道路状況、交差点の形状、車両状態および天候状態等によっては作動しない場合があります。また、衝突の可能性がなくてもシステムが作動する場合があります。詳しくは取扱書をご覧ください。 ■プリクラッシュセーフティはあくまで運転を支援する機能です。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。 ■数値は社内測定値。



[自車右折時、直進してくる対向車を検知。]



[自車右左折時、横断してきた歩行者や自転車運転者も検知。]

交差点での検知にも対応。

■「交差点」右折時の対向直進車・右左折時の横断歩行者・自転車運転者検知機能

交差点右折時に直進してくる対向車および右左折時に横断してくる歩行者や自転車運転者をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。交差点での検知は隣接2レーンまでの対向車に作動領域を拡大しています。ブザーと表示で衝突の可能性を知らせると同時に、プリクラッシュブレーキを作動。衝突回避または被害軽減をサポートします。

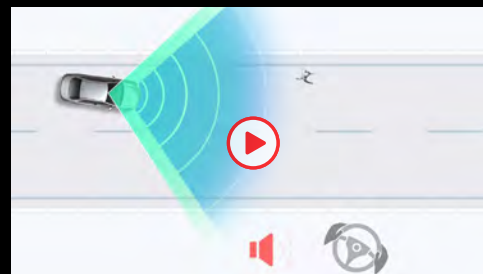
■交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。  
■プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。



交差点での出会い頭時の検知にも対応。

■「交差点」出会い頭時の車両・自動二輪車検知機能  
交差点に進入する際、交差する車両や自動二輪車をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。ブザーと表示で衝突の可能性を知らせると同時に、プリクラッシュブレーキを作動。衝突回避または被害軽減をサポートします。

■交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。  
■プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。



ドライバーによる回避操舵をきっかけに操舵と車線逸脱抑制をサポート。

■緊急時操舵支援機能

歩行者、自転車運転者、車両、自動二輪車と衝突する可能性が高く、自車線内に回避するための十分なスペースがあるとシステムが判断した場合で、ドライバーの回避操舵があった時、操舵支援を行い、車両安定性確保と車線逸脱抑制に寄与します。

■回避するための十分なスペースがない、また、回避先に物があるとシステムが判断した場合には作動しません。 ■横断歩行者など一定以上の速度を持った対象には作動しない場合があります。



低速時の自車直前にいる歩行者、自転車運転者、車両検知機能により衝突回避・被害軽減をサポート。

■低速時加速抑制機能

低速時の自車の直前にいる歩行者、自転車運転者、車両をミリ波レーダーと単眼カメラで認識。前方に対象物がある状態で、停車または徐行状態からアクセルペダルが必要以上に強く踏み込まれた場合には、エンジン出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。

[RZ“High performance”〈GR-DAT(8AT)〉、RZ〈GR-DAT(8AT)〉に標準装備。RC〈GR-DAT(8AT)〉にメーカーパッケージオプション]

■本機能はパーキングサポートブレーキ(前後方静止物)の対象物である壁などに対しては作動しないシステムで、パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)の代替機能となるシステムではありません。

ついていくをサポート。

#### ▶レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付/停止保持機能なし)

[RZ“High performance”〈GR-DAT (8AT)〉、RZ〈GR-DAT (8AT)〉に標準装備。RC〈GR-DAT (8AT)〉にメーカーパッケージオプション]

#### ▶レーダークルーズコントロール(ブレーキ制御付)

[RZ“High performance” (6MT)、RZ (6MT) に標準装備。RC (6MT) にメーカーパッケージオプション]



#### ■先行車追従機能

ミリ波レーダーと単眼カメラで先行車を認識し、車速に応じた車間距離を保ちながら追従走行を支援します。「全車速追従機能付/停止保持機能なし」は先行車が停止したときは自車も停止。停止後、システムを解除します。<sup>\*1</sup>「ブレーキ制御付」は先行車が減速して自車の車速が約30km/h未満になると、自動的にシステムを解除します。

\*1. 停止状態を継続するには、ブレーキペダルを踏み続けてください。  
 ■車間距離制御は状況により限界があります。システムを過信せず、安全運転をお願いします。  
 ■設定速度は、制限速度、交通の流れ、路面環境、天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は運転者が行う必要があります。 ■道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用にならない場合があります。 ■高速道路や自動車専用道路でご使用ください。詳しくは取扱書をご覧ください。

先行車との間にちょうどいい距離が設定できる。

#### ■4段階の車間距離設定

先行車との車間距離設定を4段階とし、より感覚にあった車間距離を実現します。



高速域での走行中も、スムーズな車線変更をサポート。

#### ■車線変更時の補助

レーダークルーズコントロール使用中にウinker操作をした際、遅い先行車を追い越すための予備加速、または車線変更先にいる遅い先行車に追従するための予備減速を実施し、スムーズな追い越しや車線変更を行います。



高速道路の渋滞走行時など、運転負荷を大幅に軽減。

#### ■先々行車検知

ミリ波レーダーおよび単眼カメラの検知範囲拡大などにより、前方認識範囲を拡大。停止・発進を繰り返すシーンで、先行車や先々行車の認識、進路判定、割り込み車などに対して、優れた認識性能を確保しています。

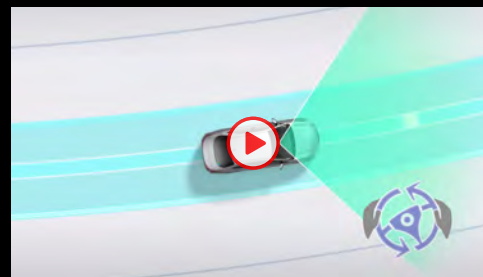
[RZ“High performance”〈GR-DAT (8AT)〉、RZ〈GR-DAT (8AT)〉に標準装備。RC〈GR-DAT (8AT)〉にメーカーパッケージオプション]



カーブを検知し、スムーズに曲がれるように減速。

#### ■カーブ速度抑制機能

レーダークルーズコントロールで走行中、システムが前方のカーブを検知すると必要に応じて速度抑制を実施。より遠方のカーブまで検知して早期に減速を行います。



高速道路のクルージングをサポート。

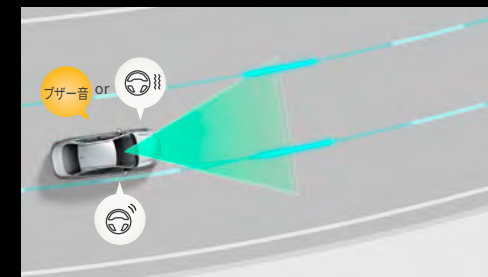
#### ▶レイトレーシングアシスト[LTA]

車線の中央を走行するために必要なステアリング操作の一部を支援します。

[RZ“High performance”、RZに標準装備。RCにメーカーパッケージオプション]

#### ■車線維持支援機能

車線が見えにくい、または見えない場合も、先行車を追従してステアリング操作を支援します。カーブ走行性能の向上により、シーンに合わせて車線維持のトレース位置を変化させる制御を追加。例えば隣接車線の車両を追い抜いたり、路外の構造物との距離が近い場合などは、走路中央よりも回避側にトレース位置をオフセットします。



はみ出さないをサポート。

#### ▶レーンディパーチャーアラート[LDA]

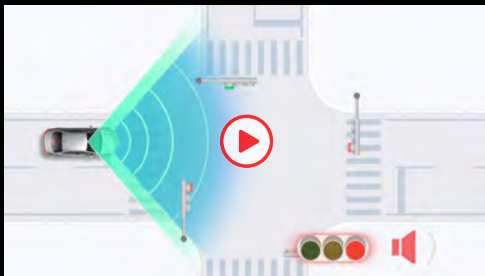
車線をはみ出しそうな時は、ディスプレイ表示およびステアリングの振動または警報ブザーにより警告。ステアリング操作も支援します。

[RZ“High performance”、RZに標準装備。RCにメーカーパッケージオプション]

#### ■車線逸脱警報機能/車線逸脱抑制機能

車線だけでなく、アスファルトと草・土などの境界や縁石、ガードレールなどの構造物も認識対象としてシステムが作動します。歩行者や駐車車両を避けるための意図的な車線逸脱と判断した場合は、車線逸脱警報機能/車線逸脱抑制機能の作動を抑える機能を採用しました。また、ブラインドスポットモニター[BSM]装着車は方向指示灯の点滅中であっても、隣の車線を走行中の車両と衝突する可能性があるると判断した場合、車線逸脱警報機能/車線逸脱抑制機能が作動し、音声でお知らせします。





赤信号の告知機能

### 標識の見逃し防止をサポート。

#### ▶ロードサインアシスト[RSA]

単眼カメラで認識した「最高速度」「はみ出し通行禁止」「一時停止」「転回禁止」の道路標識をマルチインフォメーションディスプレイに表示。また、「最高速度」「車両進入禁止」「赤信号」の道路標識や信号に従っていないとシステムが判断した場合、表示の反転や点滅、ブザーなどでドライバーに告知。それらにより、道路標識などの見落としを減らし、安全運転を促します。

[RZ“High performance”、RZに標準装備。RCにメーカーパッケージオプション]

■RSA: Road Sign Assist ■道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくは取扱書をご覧ください。

#### ■赤信号の告知機能

赤信号を認識している場合に、信号を見落として交差点に進入する可能性があるとしてシステムが判定したときには、ディスプレイの点滅表示やブザーにより注意を促します。



### 夜間の見やすさをサポート。

#### ▶オートマテックハイビーム[AHB]

ハイビームとロービームを自動で切り替え、夜間の歩行者などの早期発見をサポート。切り替え忘れを防ぐほか、手動操作の煩わしさも軽減します。

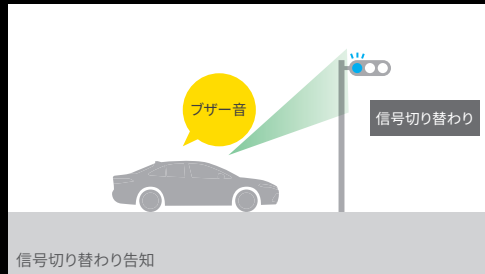
[RZ“High performance”、RZに標準装備。

RCにメーカーパッケージオプション]

■AHB: Automatic High Beam ■自車速度約30km/h以上で作動します。 ■ハイビーム・ロービームの切替自動制御には、状況により限界があります。運転時には常に周囲の状況に注意し、必要に応じて手動で切り替えるなど、安全運転を心掛けてください。 ■道路状況、車両状態および天候状態等によっては、作動しない場合やご利用になれない場合があります。詳しくは取扱書をご覧ください。



先行車発進告知



信号切り替わり告知

### 先行車発進時や信号切り替わり時のうっかり出遅れ防止をサポート。

#### ▶発進遅れ告知機能[TMN]

交差点で信号が赤から青に変わった時や、先行車発進

時の「うっかり出遅れ」をブザー&マルチインフォメーションディスプレイ表示でお知らせします。

[RZ“High performance”、RZに標準装備。RCにメーカーパッケージオプション]

#### ■信号切り替わり時の出遅れにも対応

先行車の発進をお知らせする従来の機能に加え、信号が赤から青に変わった時の「うっかり出遅れ」も表示とブザーでお知らせします。

■TMN: Traffic Movement Notification ■右折矢印信号も検知可能です。 ■シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、ブレーキペダルを踏んでいなくても作動します。 ■先行車が約4m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFF および通知タイミングの変更が可能です。詳しくは取扱書をご覧ください。



インジケーター部

拡大イメージ

### 車線変更時の危険をお知らせ。

#### ▶ブラインドスポットモニター[BSM]

走行中、ドアミラーでは確認しにくい後側方エリアに存在する車両に加えて、隣接する車線の最大約60m後方までモニターし、急接近してくる車両も検知します。車両を検知するとドアミラー内のインジケーターが点灯、車両を検知した状態でウインカーを操作するとインジケーターが点滅し、より注意を喚起します。

[RZ“High performance”、RZに標準装備]



### 降車時の危険をお知らせ。

#### ▶安心降車アシスト[SEA]

降車時、ブラインドスポットモニター[BSM]のセンサーを活用し、後方からの自転車を含む接近車両などを検知。開放後のドア、もしくは降車した乗員と衝突する可能性があるとしてシステムが判断した場合、ドアミラー内のインジケーターを点灯させ注意を促します。また、ドアを開けようとした場合は、ブザー、ドアミラー内のインジケーターの点滅、メーターの表示で乗員に告知します。

[RZ“High performance”、RZに標準装備]

■BSM: Blind Spot Monitor ■SEA: Safe Exit Assist ■検知対象の目安となる大きさは、ブラインドスポットモニターは小型の二輪車より大きな車両となり、安心降車アシストは自転車より大きな車両となります。一部の特殊な道路状況等では、静止物に対してもインジケーターが点灯する場合があります。 ■天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。 ■ブラインドスポットモニター、安心降車アシストはあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。



パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)

車両周囲の静止物を検知して、衝突被害の軽減に寄与。

▶パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)

[RZ “High performance” (GR-DAT (8AT))、RZ (GR-DAT (8AT)) に標準装備]

▶クリアランスソナー&バックソナー

[RZ “High performance” (6MT)、RZ (6MT)、RC に標準装備]

「パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)」は静止物との接触を緩和する機能を追加。前後進行方向にある壁などの静止物を検知している場合、発進時にエンジン出力を抑制し、さらに距離が縮まると衝突被害軽減ブレーキをかけます。アクセルの踏み間違いや踏みすぎなどで起こる衝突を緩和し、被害の軽減に寄与するシステムです。「クリアランスソナー&バックソナー」は車庫入れなどの運転時、静止物の接近を表示とブザーでお知らせします。

〈パーキングサポートブレーキを安全にお使いいただく上での注意事項〉

■パーキングサポートブレーキは衝突被害軽減ブレーキまで働くシステムではありませんが、必ず止まることを約束するものではありません。道路状況、車両状態および天候状態等によっては作動しない場合があります。また、衝突の可能性がなくてもシステムが作動する場合があります。詳しくは取扱書をご覧ください。 ■安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。 ■ソナーおよびレーダー、カメラの検知範囲、作動速度には限界があります。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。 ■運転者自身でパーキングサポートブレーキの衝突被害軽減ブレーキ制御を試すことはおやめください。 ■パーキングサポートブレーキの衝突被害軽減ブレーキが作動した場合でもブレーキ制御は2秒で解除されるため、そのまま前進・後退できます。また、ブレーキペダルを踏んでもブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進・後退できます。

〈クリアランスソナー&バックソナーについて〉

■ソナーの検知範囲、作動速度には限界があります。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。

〈リヤクロストラフィックアラートについて〉

■天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。 ■リヤクロストラフィックアラートはあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバー自ら周囲の安全状況を直接確認する必要があります。 ■リヤクロストラフィックアラートのレーダーは真後ろの車両を検知できないため、必ずバックモニターと合わせてご使用ください。



パーキングサポートブレーキ(後方接近車両)

後方から接近する車両を検知し、衝突被害の軽減に寄与。

▶パーキングサポートブレーキ(後方接近車両)

[RZ “High performance” (GR-DAT (8AT))、RZ (GR-DAT (8AT)) に標準装備]

▶リヤクロストラフィックアラート

[RZ “High performance” (6MT)、RZ (6MT) に標準装備]

「パーキングサポートブレーキ(後方接近車両)」は衝突の危険性がある場合、自動的にブレーキ制御を行うことで接近車両との衝突被害軽減を支援します。「リヤクロストラフィックアラート」は駐車場から後退する際に、自車の左右後方から接近してくる車両をレーダーで検知。ドアミラー内のインジケータ点滅とブザーによりドライバーに注意を喚起します。

■パーキングサポートブレーキ(後方接近車両)のレーダーは真後ろの車両を検知できないため、必ずバックモニターと合わせてご使用ください。



シフト操作を間違えた時や後退時に、速度を抑制して被害軽減に寄与。

▶ドライブスタートコントロール

シフト操作時における急発進・急加速を抑制し、衝突時の被害軽減に寄与します。例えば、後退時に衝突して慌てたドライバーが、アクセルを踏み込んだままシフトを「R」から「D」へ変更した際、表示で注意を促し、エンジン出力を制御。また後退時、必要以上にアクセルを踏み込んで速度が上がりすぎるのを防ぐために、エンジン出力を制御します。

[RZ “High performance” (GR-DAT (8AT))、RZ (GR-DAT (8AT)) に標準装備。RC (GR-DAT (8AT)) にメーカーパッケージオプション]



ディスプレイオーディオに後方の視界を表示。

▶バックガイドモニター

ディスプレイオーディオに後方の視界を表示し、安心の車庫入れをサポート。「距離目安線」「車幅延長線」「駐車ガイド線」およびステアリング操作に連動する「予想進路線」を画面に表示します。画面上のスイッチを選択する代わりに、音声操作システムを使ってバックガイドモニター画面を操作することが可能。車両に搭載されている機能のみ音声操作ができます。

[RZ “High performance”、RZ に標準装備]

■カメラが映しだす範囲は限られています。必ず車両周辺の安全を直接確認してください。